

経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道 足寄町

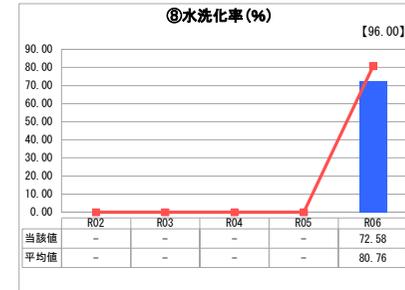
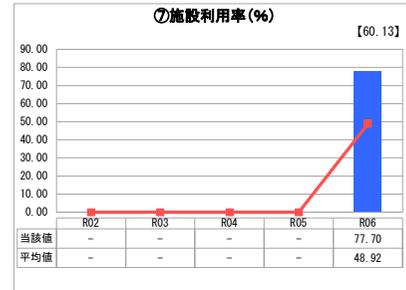
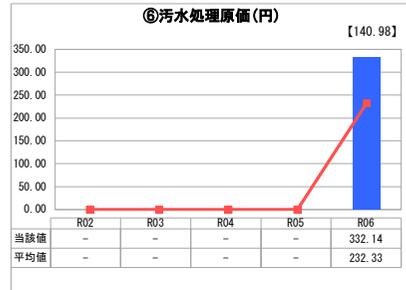
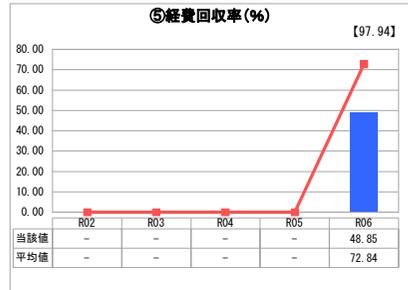
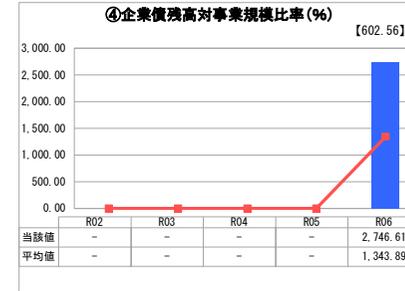
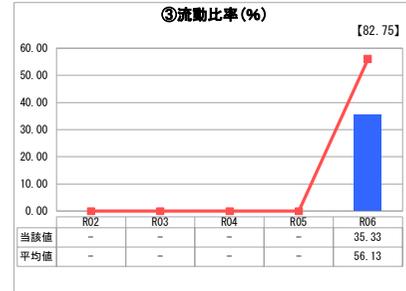
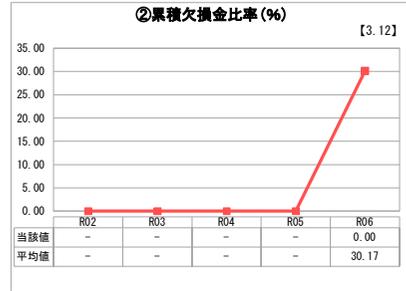
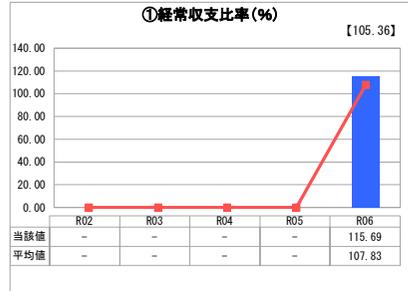
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	72.44	76.63	91.91	3,317

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
5,952	1,408.04	4.23
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
4,490	2.49	1,803.21

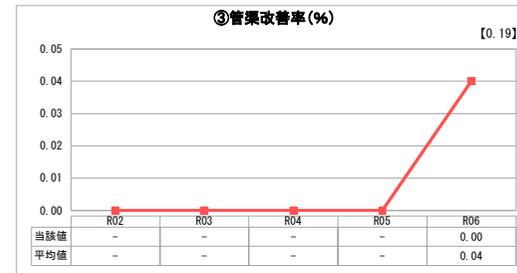
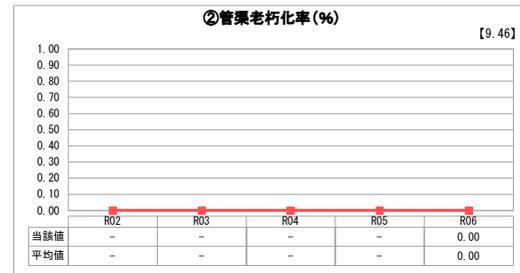
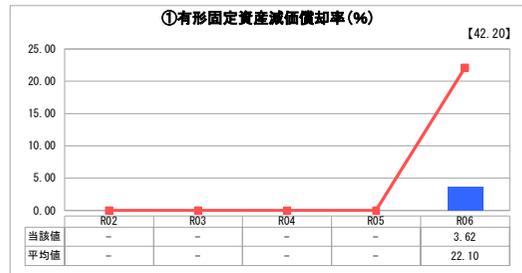
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経費圧縮や料金決定だけでは改善が難しく、今後も一般会計からの繰入金を受けながら抜本的な経営改善を検討しなければなりません。

④ 平均と比べて大きく上回っていますが、管渠整備等に係る企業債残高が大半を占めます。今後も収益改善と併せて、必要最低限の投資となるように努めていきます。

⑤ 平均値と比べ大きく下回っており、経常的な経費に対する料金収入の不足が表れています。引き続き下水道接続の普及促進を図りながら、汚水処理にかかる経費の削減に取り組む必要があります。

⑦ ⑦について、下水道接続件数を増やすことで処理施設に流入する汚水量の増加を図り、施設の稼働率を上げる必要があります。施設利用率について、統計上の晴天カウント数によっては数値に大幅な増減が発生すると思いますが、現状では類似団体の平均値を上回っており施設を有効利用していると言えます。

⑧ 計画区域全域で供用が開始されていますが、平均を下回っております。下水道利用の普及促進を図り下水道接続件数を増やす必要があります。

2. 老朽化の状況について

・最初の管渠耐用年数満了は令和27年頃となっております。管渠改善率の数値は0となっております。管渠更新には多額の工事費用が必要となることから更新までの財源確保を含め、計画的な更新を検討する必要があります。

全体総括

・令和6年度より公営企業会計に移行したことで、独立採算を原則とした経営を求められていますが、現状では料金収入だけでは費用全体を賅えず、一般会計からの繰入金に依存しています。計画区域全域で供用開始されているため、下水道接続件数が大きく増加することは考えにくく、使用料収入だけでは維持管理費も賅えておりません。下水道処理区域内人口も年々減少しているため将来的には使用料収入の減収も予想されます。経費削減及び下水道接続推進による財源確保を前提としますが、下水道使用料の改定も視野に入れた経営戦略を策定し、計画に沿った経営を行う必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。